



小金井市議会議員

片山かおるの ちょっとカエル通信

14号



おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

9月から10月まで、長い議会が始まります!

片山かおるの一般質問

① 市内失業者への支援を!

- 1) 緊急雇用予算について、各課での実施状況。
- 2) 市民の求職者への広報について
- 3) 今後の雇用支援について

■6月補正予算で組まれた雇用の情報は、ハローワークだけでは市民に届かなかつた、ということが明らかになりました。広報の拡充や工夫も必要ですし、失業対策、就職支援として市がなにができるのか、早急に考えていかななくてはなりません。

② 子どもの貧困の連鎖を食い止めよう

- 1) 就学援助の広報について
- 2) 就学援助の拡充(対象事項、対象者など)について
- 3) 公費負担の学校教材費の拡充

■各地で就学援助が注目されています。子どもたちの教育格差を広げないためにも、教育費の公費保障を広げていきたいところです。

③ 子どもの権利が

保障される町にするために

- 1) 「子どもの権利に関する条例」の推進状況、今後の計画など
 - 2) 条例の手引きの作成について
 - 3) 広報用パンフレットの作成状況
- 条例をどのように活用していくのか、施行されてすでに半年が経ちますが、いまだに何もビジョンが見えてきません。もっと市民や子どもを巻き込んで条例について、いっしょに考える機会を作っていかななくては。

● 議会日程について



- 9/1(火)~3(木) 本会議
 4(金)~9(水) 一般質問
 (片山は9/9(水)午前10:00から、
 漢人は9/8(火)午後1:30からです)
 11(金) 厚生文教委員会
 14(月) 建設環境委員会
 15(火) 総務企画委員会
 16(水) 予算特別委員会
 17(木) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
 18(金) 駅周辺整備調査特別委員会
 24(水) 庁舎建設等調査特別委員会
 25(木) 行財政改革調査特別委員会
 30(水) 本会議
 10/2(金) 5(月) 6(火) 13(火) 決算特別委員会
 15(木) 本会議

● 9月議会の補正予算と決算

- ◇9月議会では決算もあるので、長い会期となります。決算の議案説明では数字の比率ばかり。具体的な中身を把握できないことも多かったので、議論を聞きながら研究していかななくては。
- ◇補正予算には、国のバラマキ補正予算によるものが多く散りばめられています。小中学校や市庁舎のデジタルTVやPC購入など、国の景気対策予算そのまま。地デジ戦略にまんまと乗せられています。果たして旧型テレビの廃棄によるCO2排出はどのくらいになるのでしょうか。大企業ばかり儲かる景気対策……。
- ◇緊急雇用創出事業も国のバラマキ予算ですが、雇用を増やすのは緊急の課題。ほんとは継続した雇用体制になるといいのですが。今回は一般質問で聞きたいと思います。
- ◇失業者などへの住宅費が、ひと月53,000円補填される補助が始まります。これは注目したい。
- ◇南中の西側、東八道路に近い新小金井街道沿いの貫井南町に、貫井北町から清掃分室が移転することに。どのような機能になるのか、確認していきます。
- ◇南中の北側、前原5丁目に「(仮称)まえはら市民農園」が造成されることに。広大な農地が住宅地に変わりつつありますが、市民農園は新しい住宅地の奥になる予定。

図書館運営の見直しとは？教科書採択の結果は？

●図書館の運営って、だれが決めるの？

閉会中の7/23にあった厚生文教委員会、なにも議案がなかったので、たくさんの所管質問。ところが終わったあとに、7月初旬には図書館協議会の答申が出ていたことが発覚。図書館の運営に関する大事な答申なのに、ぜんぜんお知らせなし。8/11の教育委員会では、答申をまったく尊重しない運営の見直し案が出され、可決されてしまいました。正規職員を減らし、図書館本館の非常勤職員を全員カット、窓口業務などを民間委託する案です。9月の厚生教委員会で審議されます。手続きが不明瞭で、市民参加を尊重しない経過が問題。雇用が不安定な時代に、非常勤職員の大量カットも問題です。

●委員会や組合議会の報告です

7/23に厚生文教委員会、8/13に湖南衛生組合議会、8/21に行財政改革調査特別委員会がありました。湖南衛生組合議会は人事を決めただけ。し尿処理が少なくなっている今、この組合をどうするのが今後の課題です。行革委員会では、図書館の運営見直し案が出なかったので資料請求しましたが、厚文に出すので必要ない、と行政が反発。非常に大事な課題なので、いろんな角度から審議することが必要です。資料を出してもらい、今後審議することになりました。

●中学校の教科書採択がありました

いつもとても注目を浴びる審議です。今回もたくさんの傍聴者がいました。ほとんどこれまでと同じ教科書会社に決定。前回の採択から間もなく、これまでのような勉強会はなかったようですが、各委員が独自に勉強しているようで、人権や環境に触れた教科書への評価、性教育の大切さなど、見識の高い意見も伺えました。市民と教育委員が開かれた場で、教育についてもっと密に懇談する場があるといいな、と思いました。

片山かおるプロフィール

1966年生れ。2009年4月より市議会議員。厚生文教委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、行財政改革調査特別委員、湖南衛生組合議会議員、国民健康保険運営協議会委員、都市計画審議会議員、議会報編集委員。小5と中2の男の子とパートナーと猫と共に前原町に暮らす。8ミリ・実験映画・ドキュメンタリーを制作上映。子育て支援ネットワーク、保育室の存続運動、子どもの権利条例の制定、教育問題、武蔵野はらっぱ祭りの復活などに関わる。

- 片山かおるは「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」および、漢人あきこと共に「市民自治こがねい」といっしょに活動しています。誰でも参加できる市民の集まりです。
- 議会では「みどり・市民ネット」という従来の枠にとらわれない新しい会派に参加しています。市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために、市民にわかりやすく開かれた議会をめざします。

夏のあれこれ

◆『ダンス白州』と

『小金井アートフル・アクション!』

8月中旬に、映像で参加している「ダンス白州」へ。舞踏、映像、美術、建築、農業などが有機的にかみあい、毎年形が変わっていく催しです。現場親方の舞踏家、田中浜さんを中心に、農事を通して地域と密接につながりながら、田んぼや道ばたで前衛芸術を繰り広げます。小金井でも芸術文化振興計画ができて「アートフル・アクション!」という試みが始まっています。町のあちこちでアートが展開される、というイメージ。白州には及びもつきませんが、小金井らしい形が模索できればいいなと思います。私の仲間たちも、8ミリを主にした『光とフィルムの映像表現ワークショップ』を企画中。

◆「札幌市子どもの最善の利益を 実現するための権利条例」とは？

札幌で権利条例制定に関わった市民団体と面談、札幌市役所の担当課と子どもの相談の場を訪ねました。小金井と違うのは、制定段階から子どもたちや市民への広報体制が整えられていたこと。担当課も教育委員会も、子どもや市民の参加をととても大事に考えています。条例を活用していく上でとても有効です。同じ年度に条例ができた小金井でも、参考にしてもっと動いてもらわなくっちゃ。

参加しませんか

子どもの人権講座

- ～できたよ!小金井市子どもの権利に関する条例～
 - 9/6(日)午後2:00～4:00*「何で条例って必要なの?～子どもの権利とは」講師:喜多明人
 - 9/11(金)午前10:00～正午*「条例をどう使うの?～現場から語る子どもの権利」講師:小笠毅
 - 9/24、10/25はフィールドワークなど。
 - 10/13(火)午前10:00～正午*「特別支援教育って何?～子どもにとっての発達障害」講師:牟田悦子
 - 10/19(月)午前10:00～正午*「語られなかった子どもの貧困!～子どもにとっての格差社会」講師:阿部彩
 - 11/7(土)午後2:00～4:00*「エンパワーメントって何?～これから子どもとおとなができること」講師:吉永省三
- 主催・問合せ:小金井市公民館本館 tel:042-383-1184

◇片山かおるといっしょにかえる小金井の会◇
小金井市中町3-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net

◇みどり・市民ネット会派ニュース◇
小金井市議会 みどり・市民ネット
小金井市本町6-6-3 TEL:042-383-1111